

○損傷・劣化が確認された煙突の応急的な補修の実施方法

補修項目	補修方法例
1. ひび割れを補修する場合	①ひび割れ幅が約 0.3 mm以下で、かつひび割れの発生が少ない場合は、そのひび割れ面を V 字型の溝、または U 字型の溝を掘り、その箇所へ低粘度のエポキシ系樹脂などをパテ状にして充填する。
	②ひび割れ幅が 0.3 mm以下で、かつひび割れの発生が多い場合は、そのひび割れ面を V 字型の溝、または U 字型の溝を掘り、その箇所へエポキシ系、ポリウレタン系樹脂などを充填した後、縦・横に耐食処理した補強バンドを用いて締め付ける。
2. (1) 鉄筋のかぶり厚さを増す場合 (2) 鉄筋の発錆を抑制する場合 (3) 中性化の進行を抑制する場合	①耐酸性・耐熱性の大きいセメントモルタルを塗る。また、損傷の程度によっては下地用金網を張ったり、鉄筋を増したりする。
	②上記①に加えて、耐酸性・耐熱性の大きい仕上げ材を施す。
3. 煙突内側保護材を補修する場合	①表面に付着している硫酸分を、水を使わないでブラシ、ほうき等で清掃した後、耐酸性・耐熱性の大きいセメントモルタルを塗る。
	②煙突内側保護材の腐食が著しい場合は、その損傷した煙突内側保護材を取り除き、新しい煙突内側保護材を施す。
4. 内側躯体コンクリート及び煙突内側保護材を補修する場合	内側躯体コンクリートの損傷している部分を耐酸性・耐熱性の大きいセメントモルタルで補修した後、煙突内側保護材を施す。
5. 煙突頂部を切除し改修する場合	煙突頂部で内側躯体コンクリート・煙突内側保護材とも腐食が著しい場合は、それらを切除し、元の高さまでステンレス鋼の煙突を設置する。